

代表質問



飯沼 雅子 議員 (共産)

### 南スダンに戦闘状態を求めよ 区長は派兵を中止せよ 立憲主義を壊す安倍改憲に反対

①立憲主義を壊す安倍改憲に区長は反対を表明しないのか。②なぜ安保法制が違憲か合憲かの見解を示せないのか。区長 ①外交や防衛といった事項について、一自治体の首長が見解を述べることは差し控えるべきものと考えます。

まち壊しの超高層再開発、放射2号線など道路建設は中止し、災害を未然に防ぐ防災対策を

①地域のコミュニティを壊す武蔵小山駅前の超高層再開発が、災害に強く安全と言えるのか。②放射2号線の道路建設は中止を。③感震プレーカーの設置補助を区内全域に広げては。④まちづくりマスタープランの見直しを。

都市環境部長 ①再開発に伴い、道路拡幅をはじめ広場等を配置するとともに、地域コミュニティを生かした防災活動の場をつくる計画だ。②特定整備路線は重要な道路で

あり都に中止を求める考えはない。③まずは危険度の高い地域を最優先に普及に努める。④見直しを行う考えはない。

安倍政権による社会保障制度の先頭に立ち進める福祉切り捨てをやめ、23区で最低の福祉の底上げを

①放課後等デイサービス事業において、区は月の支給決定基準の上限を要綱で10日と定めている。厚労省通知の原則の上限日数である23日まで引き上げを。②日中一時支援事業の利用者負担に、所得に応じた負担上限額を設定しては。③国保料の引き下げと過酷な差し押さえの中止を。④子どもへの貧困対策において、自助努力への支援では貧困から抜け出せないと思うが、見解を。⑤林試の森隣の国有地・都用地は保育園等に活用を。

福祉部長 ①法内サービスだけでなく日中一時支援も活用し、放課後活動の場を提供していく。また、要綱における上限という表現は変更する予定だ。②所得に応じた軽減措置のための予算案を本定例会に提案している。③自助努力への支援が基本と考えており、支援策の強化を予定している。⑤区の考えを都に示し、協議を進めている。

健康推進部長 ③特別区は、保険料が値上がりしないよう努めている。また、差し押さえは被保険者の公平性の観点から適切に対応している。

民間任せでなく区立認可保育園の増設で待機児ゼロの実現を

①4月入園の認可保育園申し込みの1次申請数や内定数等は。②公設公営の認可保育園増設を。③都が新たに公開した都用地情報を活用し、区立認可保育園の増設を。④規制緩和等で様々な保育施設ができ、認可保育園との格差が生まれている。どの子どもも水準の保育が受けられるよう質の向上を求めるが、見解を。

子ども未来部長 ①申込者数は3千525人、内定者数は2千335人、不承諾通知は1千190件だ。②公設公営が早期整備につながるという言いがたいと考える。③引き続き用地情報に注視し、関係機関に働きかけていく。④区でも独自に指導検査を行うなど、保育の質の確保に努めている。

子ども不在の「教育改革」は見直し、学校選択制は中止を  
どの子ども大切にされる公教育の実現を

①学校選択制は中止すべきでは。②小中一貫校と学校選択制の検証を行い、結果を区民に示すべきでは。③区の教育要領の策定にあたり、児童生徒の意見を反映する教育内容等へ転換を。④教員の多忙化の解消を求めるが、見解を。

少年数等級の実現を。

教育次長 ①7割を超える保護者が選択制を肯定的に捉えている。②各種学力調査等様々な場面で検証してきた。③教員や学識経験者等で検討を重ねていく。④各学校の状況はヒアリング等で把握している。⑤習熟度別少人数指導や教科担任制の充実に努める。



大倉たかひろ 議員 (民・無)

### シティプロモーションについて

①シティプロモーションの目標は。②PR動画の視聴回数やどう増やしていくのか。③他自治体の失敗事例の調査も重要では。④現在公開している動画の目的は。⑤広報紙やホームページのデザイン性を上げることも重要では。⑥区が定住してもらいたいと考ええるターゲット層は。⑦シティプロモーションを推進する必要があると考える理由は。⑧区に活気と発展を継続させることだ。⑨インパクトのある打ち出し方を工夫していく。⑩インターネットや専門誌等から幅広く情報収集に努めている。⑪区に興味と関心を持っていただくことだ。⑫企画・内容を工夫することともに、視覚的効果の向上に取り組んでいく。⑬居住地の選択に影響力がある女性だ。⑭万全の準備を進めていく。

子育て支援について

①正確な保育需要を捉えるため、人口推計の見直しが必要では。②今後も積極的な待機児童対策は重要と考えるが、所見を。③保育士確保や定着に対する取り組みは。④在宅子育て家庭へ、ベビーシッターのような形態の支援も必要では。⑤在宅子育てをしながら再就職するのは困難だが、

一時保育を活用して就業に結びつけては。⑥医療的ケア児受け入れの課題と方向性は。⑦子どもの貧困対策事業について、積極的な情報発信を。

子ども未来部長 ①人口増加は想定以上であり、人口推計の見直しは必要と考えている。②乳幼児人口をエリアごとにきめ細かく予測し、スピード感を持って待機児童対策を推進する必要があると考えている。③児童心理士による研修、やりがいの醸成等を図っている。④他自治体を参考に検討する。⑤利用率が高く、特定利用者の優先は難しい。⑥特別な配慮が必要であり、全ての児童は預かれないが、集団保育での受け入れを検討していく。⑦子育てアプリのほか、子ども食堂フォーラムなどで発信していく。

学校教育について

①小学校で外国語活動が必修となるが、教員の負担にならないための取り組みは。②プログラミング教育に対する区の考え方は。③不登校を早期に解決するための対策とは。④スマートフォンの利用ルール制定や周知等の方向性は。⑤英語専科指導員を各学校に配置している。⑥論理的に思考して課題を解決

する力を身につけることは、今後重要になると捉えている。③独自の報告基準を設定し、不登校傾向にある児童・生徒の把握に努めている。④各学校で作成したSNSルールをもとに家庭でのルールづくりを進めている。

防災対策について

①災害時に必要となる緊急輸送ルートを確保するため、区独自の方針を作成しては。②妊婦や障害者、乳幼児等の視点で避難所運営マニュアルを作成すべきでは。③避難者カードは簡易なものにし、避難者の負担軽減を。④避難所におけるペットの取り扱いについては。⑤介助犬が必要な避難者への対応は。⑥ペット避難に関する訓練を行っている。

災害対策担当部長 ①平成29年度に修正する地域防災計画の中で具体化していく。②避難所連絡会議に働きかけていく。③今後、記入方法を工夫していく。④ペットが受け入れられるよう避難所連絡会議に働きかけていく。⑤障害者として合理的な配慮を行う。⑥具体化に努めていく。

骨髄ドナー登録支援について

①骨髄ドナー登録の周知啓発を進めては。②若い層のドナー登録のため、学校で命の大切さを学ぶ取り組みを。

品川区保健所長 ①今後も、関係機関にパンフレットを配布するなど引き続き周知を行っていく。②教育委員会や区内大学等と連携するなど啓発に努めていく。

## 第20回議員研修会を開催しました

平成29年2月7日に「対話がはずむテクニク～議会に必要なファシリテーション～」と題して、早稲田大学マニフェスト研究所の中村事務局長を講師としてお招きし、会議活性化のためのファシリテートスキル向上を目的とした研修を行いました。



講師 中村 健氏



研修会に参加する議員たち